



# 防衛

Bouei Hokkaido  
April 2017  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense

Vol. 51

# 北海道

平成29年4月号



## 目次

- ・ 第35回防衛問題セミナー（札幌市） … 2
- ・ 防衛施設と周辺地域との調和を図るために … 3～5
- ・ 次期政府専用機施設の整備 … 6
- ・ 千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議の開催 … 6
- ・ 静内対空射撃場水域における対空射撃訓練 … 7
- ・ 絆(きずな)～奥尻町と奥尻島分屯基地の紹介～ … 8
- ・ 防衛省職員採用試験のご案内 … 9
- ・ 平成29年度自衛官等募集案内 … 9
- ・ 北海道防衛局は設立10周年を迎えます … 10
- ・ 建設業者の皆様へお知らせ … 10

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011 - 272 - 7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



陸上自衛隊第1空挺団による降下訓練が1月28日から2月4日にかけて、然別演習場、鹿追町及び芽室町において行われました。

(写真提供：第1空挺団広報室)

# 第35回防衛問題セミナー

## テーマ：南スーダンにおける国際平和協力活動

北海道防衛局は、第35回防衛問題セミナーを、「南スーダンにおける国際平和協力活動」をテーマに、内閣府国際平和協力本部事務局の石川次長と陸上自衛隊第7師団第11普通科連隊長の中力1等陸佐を講師にお迎えし、平成29年3月2日（木）札幌市教育文化会館小ホールにおいて開催いたしました。（札幌市自衛隊協力会、自衛隊札幌地方協力本部後援）

セミナーでは、石川次長から「国連PKOの概要」と題し、PKO活動全般の制度や活動の意義について、引き続き、中力1佐からは「南スーダンにおける派遣施設隊の活動」と題し、南スーダン第10次要員の隊長としての経験を基に、実際の現地での活動状況等についての講演がなされました。

今回のセミナーには約280名の方々にご来場いただき、皆様からは「現地の状況やPKO活動への理解が深まった。」、「PKOの意義が理解できた。」などの感想が寄せられました。

当局は、今後とも、道内の皆様に防衛省の政策、自衛隊の活動等について理解を深めていただけるよう、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。

### 講師





# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために

## ～騒音防止事業（一般防音）の紹介～

防衛省は、飛行場における自衛隊等の航空機による離着陸、演習場におけるひん繁な射撃や火薬類の使用等により生ずる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、騒音防止事業（一般防音）として、地方公共団体等が学校や病院等の施設について必要な工事を行うときに、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条第2項に基づき、その費用の全部又は一部を補助しています。

今回は、北海道防衛局が補助した事業のうち、平成28年9月に完了した、別海町立上西春別中学校防音事業について紹介します。

### 別海町立上西春別中学校防音事業

矢臼別演習場では一年を通じて自衛隊等による射撃訓練が実施されています。このような中、別海町は演習場の近傍に所在する上西春別中学校の教育環境を改善するため、校舎改築を含む防音工事を実施したところですが、当局は、この事業に対して騒音防止事業として補助を行っています。

#### 【補助事業の概要】

- 補助対象事業費：7億1,070万円
- 補助額：5億405万円
- 構造：RC造2階建
- 面積：2,621㎡



教室内



#### 町の担当者の声：

射撃による騒音が授業の支障となっておりましたが、改築により騒音が軽減され、授業に集中できる環境が確保されたことにより、生徒により良い学校生活を送ってもらうことができるようになりました。

#### 教師の声：

教室が防音仕様になったことから実弾演習の砲撃音や衝撃波によるビビリ音が気にならなくなり、生徒が授業に集中できるようになりました。空調・暖房設備等も整備されたことにより、冬期間でも暖かい校舎で快適に授業ができています。

#### PTAの声：

上西春別中学校は避難場所に指定されています。今後、講堂の改築及び備蓄庫の整備も予定されており、これらが完成すれば地域の安心につながります。



空調設備

## ～特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介～

防衛省は、ジェット機が離着陸する飛行場や頻繁な射撃や砲撃等が行われる演習場など、その設置又は運用がその周辺地域の生活環境や開発に大きな影響を及ぼすと認められる防衛施設（※特定防衛施設）の周辺に所在する市町村に対して、公共用の施設の整備又はその他の生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第9条第2項に基づき、特定防衛施設周辺整備調整交付金を交付しています。

北海道防衛局は、平成28年度には、これらの自治体12市町村に対して同交付金約20億円を交付しており、交通施設、スポーツ又はレクリエーションに関する施設、教育文化施設、医療施設、消防に関する施設等の公共用施設の整備事業等に活用されています。

本稿では、当局が平成28年度に調整交付金を交付して行われた幅広い事業について、その一部をご紹介します。

※北海道の特定防衛施設

千歳飛行場、上富良野演習場、北海道大演習場（島松着弾地及び島松地区に限る。）、然別演習場、矢臼別演習場、北海道補給処白老弾薬支処

### ◆ 事例紹介 ◆

#### 交通施設の整備

自治体が行う、市町道路、駐車場、街路灯、道路標識等の整備や道路維持管理に必要な車両等の購入に交付しています。



冬期間の車両の安全な通行を確保するため小型ロータリー除雪車を購入（北広島市）



道路の損傷箇所や障害物の落下等がないかを巡視するため道路パトロールカーを購入（厚岸町）



路面の損傷が著しい市内道路（東6条道路）の改良舗装工事を実施（富良野市）

#### スポーツ又はレクリエーションに関する施設の整備

自治体が行う、体育館、プール、公園、野球場、テニスコート等の整備に交付しています。



総合武道館のトレーニング室にランニングマシンを設置  
市民球場では老朽化した放送設備を更新（千歳市）



パークゴルフ場に乗用芝刈機を購入（上富良野町）



## 教育文化施設の整備

自治体が行う、学校施設、グラウンド、公民館、図書館、給食センター等の整備に交付しています。



小中学校に電子黒板を設置  
(恵庭市)



小学校に児童用のタブレットパソコンを購入  
(鹿追町)



小学校の老朽化した机及び椅子を更新  
(苫小牧市)

## 医療施設の整備

自治体が行う、病院、診療所、保健所等の整備や医療機器の購入等に交付しています。



町立病院にX線CTスキャンを設置  
(中富良野町)



町立病院に内視鏡システムを設置  
(別海町)



耐用年数を迎える自動体外式除細動器  
(AED)を更新  
(浜中町)

## 消防に関する施設の整備

自治体が行う、消防自動車、救急車、消防用器具等の購入や分回詰所等の整備に交付しています。



消防本部に高規格救急自動車を購入  
(千歳市)



老朽化した消防ポンプ自動車を更新  
(上富良野町)



消防士が災害現場で着用する空気呼吸器を購入  
(白老町)

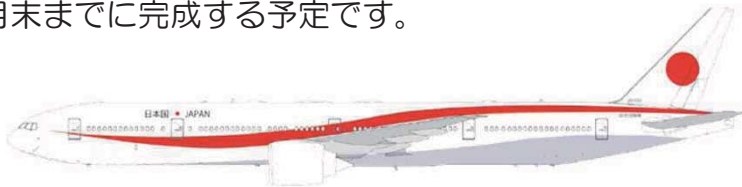
## 次期政府専用機施設の整備を行っています

政府は、航空自衛隊千歳基地内で整備・管理されている政府専用機B747-400型機を平成30年8月までにB777-300ER型機へ機種変更することとしています。

北海道防衛局は、この次期政府専用機の導入に向け、本年度から、約14.4億円（格納庫改修等工事約10.8億円、訓練施設新設工事約3.6億円）をかけ、千歳基地に所在する政府専用機格納庫の改修工事及びパイロットの訓練施設（フライトシミュレーター受入施設）の整備工事を本年度から行っています。

なかでも現格納庫は、平成4年に完成し既に約25年が経過していることもあり、老朽更新のため格納庫の舗装や大扉等の改修工事を行っておりますが、防衛省としては、その他の工事も着実に進め、次期機種の導入に万全の環境を整えることとしています。

これらの工事は、当局や航空自衛隊及び工事受注者等の関係者が綿密に連携を取りながら進められており、平成30年7月末までに完成する予定です。



【航空機諸元（参考）】

B777-300ER 全長：73.9m、全幅：64.8m  
全備重量：約350t、外数：前2、後12



政府専用機格納庫（外観）



政府専用機格納庫（屋内）

## 千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議の開催

平成29年3月1日（水）、北海道防衛局において、第9回目の「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」が開催されました。

本連絡会議は、千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故等が発生した場合における対処に万全を期すため、関係機関相互の緊密かつ迅速な連絡体制の整備等について連絡協議することを目的として、関係機関（22機関）により平成19年1月に設立されたものです。

当日は、北海道及び千歳市、苫小牧市など千歳基地周辺の地方公共団体、北海道警察本部、消防本部、第一管区海上保安本部など計20機関から約30名が参加し、米軍航空事故等における各機関の緊急連絡体制及び初動対応手順について、関係機関による調整が行われました。

この連絡会議により、関係機関、関係者において、改めて、航空事故が発生した場合における対応や相互の連携について理解が深まり、また、認識を新たにすることが出来たと考えています。

当局では、今後とも本連絡会議を定期的で開催し、不測の事態における関係機関相互の緊密かつ迅速な連絡体制の維持・強化に努めてまいります。



連絡会議開催状況

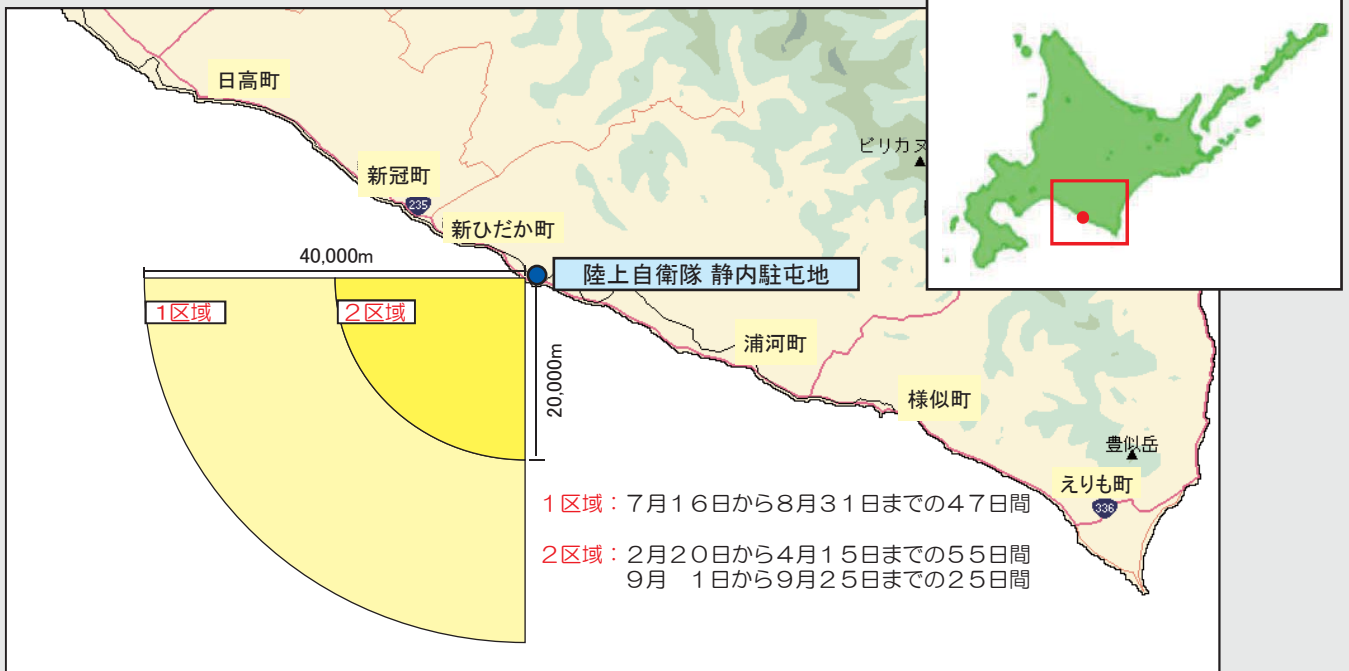


## 静内対空射撃場水域における対空射撃訓練

新ひだか町に所在する陸上自衛隊静内駐屯地が管理する対空射撃場水域において、平成29年2月20日から全国各地の高射部隊等による対空射撃訓練が行われています。これらの訓練は9月25日まで127日間行われます。

特に1区域は、射程の長い短距離地对空誘導弾（通称：短SAM）の実弾射撃訓練が国内で唯一可能な水域であることから、全国から陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が訓練等に参加しています。

### 静内対空射撃場水域図



### 静内対空射撃場で使用される主な装備品



81式短距離地对空誘導弾（短SAM）



93式近距離地对空誘導弾（近SAM）



87式自走高射機関砲（87AW）

この訓練を行うにあたり、北海道防衛局は、訓練の円滑な実施と安全管理の目的で、関係の漁業関係者のご理解とご協力を得て、半径40,000m・射界90度の扇形海面（1区域）、半径20,000m・射界90度の扇形海面（2区域）を漁業制限水域に設定しています。

また、この訓練において、漁業の操業制限による損失に対しては、関係漁協の組合長が提出する損失補償申請書を基に、漁業補償額を算定し補償を行っています。

# 絆

(きずな)

## ～奥尻町と奥尻島分屯基地の紹介～



### 奥尻町

OKUSHIRI Town

〒043-1498

北海道奥尻郡奥尻町字奥尻806番地

TEL 01397-2-3111 FAX 01397-2-3445

http://www.town.okushiri.lg.jp

奥尻町



しんむら たかみ  
新村卓実町長

### ■町長あいさつ

#### 奥尻町

は、北海道の南西部に位置する、日本海に浮かぶ離島です。島の7割が森林で覆われた、比較的温暖な気候の島です。

ウニやあわびといった海の幸ばかりがクローズアップされがちな奥尻島ですが、国内の離島では稲作の最北であり、生産される米（ふっくりんこ、ゆめぴりか）は一等米という評価を得ているほか、奥尻で生産した酒米と、奥尻の水を使い、栗山町小林酒造で、「特別純米奥尻」を醸造し、島内でもすぐに品薄になってしまうほどの人気ぶりであるほか、奥尻ワインも、島内でブドウの栽培から醸造まで行っており、その名は全国にも広まりつつあります。

町立奥尻高等学校では、生徒が地域について考える、地域づくりワークショップや、町民を交え90分間英語のみで交流するイングリッシュサロンなど独自の取り組みを展開し、全国からも生徒を募集するなど、このような活動を島内外へ向け発信をしています。

人口減少という現実を受け止めながら、地域住民がふるさと奥尻を誇りに思える島づくりを目指してまいります。

### ■奥尻島分屯基地との関わり

奥尻島分屯基地には、島内各種イベントなどの協力をいただいております。毎年6月に開催される奥尻ムーンライトマラソンでは、警備等のスタッフとして、あるいはランナーとして参加するなど、欠かすことのできない存在となっています。

また、町防災訓練では、各関係機関と連携しながら参画いただいております。奥尻島の安心・安全の確保のため尽力いただいております。



島のシンボル「なべつる岩」



奥尻ワイン



特別純米奥尻

### 奥尻島分屯基地

は、北海道では唯一、離島にある警戒監視部隊として、昭和34年6月に発足しました。以降、専守防衛の最前線基地として、我が国の領空を侵犯する恐れのある国籍不明の航空機等を24時間態勢で監視し、対領空侵犯措置に資する活動を行っています。

かむいやま

基地は、島の最高峰である神威山（標高584m）の山頂にあり、4月から5月にかけては、基地周囲に雲海が広がり、圧巻の景色となります。また、条件によっては、濃霧及び冬季の

風雪等、過酷な環境下にさらされます。いかなる環境下においてもそれらを克服し、精強に任務完遂を果たすべく、日夜訓練を重ねています。

隊員は、子供同士の繋がりや学校行事を通じて島民との関係が構築される機会が多く、毎年、島内で実施される「島びらき」や「奥尻ムーンライトマラソン大会」などの行事支援、海浜清掃ボランティアなどに積極的に参加したり、夏は海岸でバーベキューを一緒に楽しんだり島民とのふれあいを大切にしています。



准曹会による海浜清掃ボランティア



# 防衛省職員採用試験のご案内

北海道防衛局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験）の合格者から事務職、技術職の職員を採用しています。

また、このほかに防衛省は独自に防衛省専門職員採用試験を実施し、語学職、国際関係職の職員を採用しております。

## 《平成29年度 採用試験日程》

試験名	申込受付	第1次試験	第1次試験合格発表	第2次試験	最終合格発表	
国家一般公務員試験	大卒程度試験 (インターネット申込み)	4/7(金)~4/19(水)	6/18(日)	7/12(水)	7/19(水)~8/7(月)	8/23(水)
	高卒者試験 (インターネット申込み)	6/19(月)~6/28(水)	9/3(日)	10/5(木)	10/11(水)~10/20(金)	11/14(火)
防衛省専門職員採用試験	4/3(月)~4/21(金) (郵送申込み)	6/11(日)	7/5(水)	7/12(水)~7/19(水)	8/8(火)	

試験の詳細は防衛省及び人事院ホームページをご参照ください。

防衛省ホームページ  
「採用情報」



人事院ホームページ  
「国家公務員試験採用情報NAVI」



平和を、仕事にする。

## 平成29年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
予備自衛官補	一般 18歳以上34歳未満の男女	①28年 12月22日(木) ~ 29年 4月7日(金) ②29年 7月1日(土) ~ 9月16日(土) ※1	①4月14日(金)~18日(火) ②9月30日(土)~10月3日(火)  ※ いずれか一日を指定されます。	①5月19日(金) ②11月10日(金)
	一般 22歳以上26歳未満の男女 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者(見込含)は、29歳未満の男女)  20歳以上28歳未満の男女	3月1日(水) ~ 5月5日(金)	1次: 5月13日(土)・14日(日) 2次: 6月13日(火)~16日(金) 海・空飛行要員のみ 3次(海): 7月10日(月)~ 14日(金) (空※2): 7月15日(土)~ 8月3日(木)	1次: 6月2日(金) 海・空飛行要員のみ。 2次(海): 7月3日(月) (空※2): 7月7日(金)  最終 (陸・海): 8月4日(金) (空※2): 9月1日(金)
幹部候補生 歯科・薬剤師	専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の男女 (薬剤師は20歳以上28歳未満の男女 ※3)		1次: 5月13日(土) 2次: 6月13日(火)~16日(金)	1次: 6月2日(金) 最終: 8月4日(金)

※1: 第1回で採用予定数を採用した場合、第2回は実施しない場合があります。

※2: 航空自衛隊の3次試験、2次及び最終合格発表は変更する場合があります。

※3: ①学校教育法に基づく大学において、正規の薬学の課程(6年制の課程に限る。)を修めて卒業した者(平成30年3月卒業見込みの者を含む。)、②外国の薬学校を卒業し、又は外国の薬剤師免許を受けた者で、厚生労働大臣が①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者、③平成18年度から平成29年度までの間に学校教育法に基づく大学に入学し、4年制薬学課程を修めて卒業し、かつ学校教育法に基づく大学院において薬学の修士又は博士課程を修了した者であって、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定めるところにより、①に掲げる者と同等以上の学力及び技能を有すると認定した者に限ります。

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



函館地方協力本部  
0138(53)6241



帯広地方協力本部  
0155(23)5882

# 北海道防衛局は設立10周年を迎えます

北海道防衛局は、平成19年9月1日に前身の旧札幌防衛施設局を改組、設立されました。今年9月をもって設立10周年を迎えます。

この10年間、私たちは、国民の生命と財産、領土、領空、領海を守り抜くとの防衛省・自衛隊の使命を果たすため、自衛隊等が訓練や警戒監視、災害派遣等の諸活動を行うためにより良い環境を整えるための施設取得、管理、建設等の業務、また、これらの自衛隊等の諸活動による騒音等の影響を軽減するための業務、そして、各種防衛政策についての広報等の業務に邁進してまいりました。

言うまでもなく、私たちが担う防衛行政を進めるためには、地域の方々の理解と協力、そしてなにより相互の信頼関係と連携が必要不可欠であり、この10年間、私たちはこのことを胸に刻みながら職務を進めてまいりました。

近年、内外の安全保障環境は大きく、また、厳しく変化しつつあり、私たちの担う防衛行政はますます重要かつ複雑になって来ています。このような環境変化のなかで私たちは、今年、次の10年に足を踏み出しますが、今後とも、より道民の皆様により近い場所に立って考え、説明し、声を聞き、そしてその声を伝える防衛局であり続けたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。

## 北海道防衛局ロゴマーク

このロゴマークは、北海道防衛局の担う業務に対する私たちの決意と想いを意匠化したものです。今後、私たちが行う、各種イベントや広報活動に使用することとしております。

### 【コンセプト】

赤い丸は道民の生命・財産を、オレンジの丸は北海道の豊穡な大地と実りを、青色は北海道を取り囲む広大な青い海と空を、そして緑色の部分は防衛省の隊員（職員）を表し、防衛省が、「道民の生命・財産、大地を守り、共に進む」ことをイメージしています。

また、ロゴマークは、全体で北海道の「道」という字を模しており、北海道防衛局が自治体や道民の皆様と共に連携して、北海道における防衛行政を担うことを表現しています。



## 建設業者の皆様へお知らせ

防衛施設建設工事電子入札システムにおいて、建設工事の「積算価格内訳明細書」の閲覧及びダウンロードが出来ます。

1. 閲覧可能者  
防衛施設建設工事電子入札システム利用登録者
2. 掲載期間  
当局ホームページにおいて入札・契約状況調書を公開されている建設工事を対象に、**入札・契約状況調書の公開日から約3か月間。**
3. ダウンロードの方法について  
防衛施設建設工事電子入札システムにてお知らせしております。  
詳細については、以下のURLを参照願います。  
[http://www.mod-eboc.go.jp/manual/uchiwake\\_download.pdf](http://www.mod-eboc.go.jp/manual/uchiwake_download.pdf)